

# 松たけ山だより

発行：県民の森森の案内人の会

(担当 竹内・協力 川瀬)

## 26年度 会員増でスタート 春

総会終了後、翌日のオープン祭に向けて「むうぶ」の準備と、「春いちばん」コースを下見しました。

会員25名が参加して、今年度の総会が県民の森森林学習展示館で開かれました。

昨年の森の案内人育成研修会後、当会に8名の新会員を迎え、4月からは昨年より4名増え、32名体制で新年度がスタートしました。

総会では、昨年までモデルコースづくりに取り組んできましたが、その仕上げに向けて「森林研修」などを新たな事業にするなど取り上げられました。

いちばんコース



この時まではこのコースとある。オープン祭にはマフラーやコースとある。

### 春の森林案内



青空クラフト教室

ミニSL乗車会



約1000名の来場者を楽しませました。

## 県民の森

## オープニングイベント

平成26年4月29日(火)開催

案内人の会より

24名の方がスタッフとして参加

99ca方か出で下り JAVE 等

ちょっと風が吹きましたか

天気予報などでは、下り坂の予報だったので、心配しましたが当日は青空が広がり多くのお客様が足を運んでくださいました。

森林案内・青空クラフト教室・ミニSL乗車会・大曾根餅つき保存会によるふるまい餅、山野草販売などスタッフとしてご協力いただきありがとうございました。

### 大曾根餅つき保存会によるふるまい餅



緑のプレゼント

## むうぶに展示

クマザサ・トウゲシバ・カンボク・イカリソウ  
ルイヨウショウマ・ツノハシバミ・モミジイチゴ  
ニワトコ・オオカメノキ・オオシマザクラ  
ムラサキヤシオツツジ・マンサク・タムシバ  
ナナカマド・オオヤマザクラ・ヤマツツジ

この日はこんなにたくさんありました。

5月5日(月)採集・展示



お茶には飾って下りていきます。行ったらみて下さい。

展示、取りかへてごすいします

# 松たけ山だより

発行: 県民の森森の案内人の会  
(担当 竹内・協力 川瀬)

## 西黒森山自然観察会

5月14日(木) 案内人の会  
行事の観察会が  
あり、会員や関係者が  
14名参加して  
西黒森山を攀し歩いてまいりました。  
回を重ねながら、植物のリストをつくり、  
年数を積み重ねた資料から新発見が?



当番の方、展示ご苦労までした。  
↓ 名前記入が大変でしたね

## 春の野草展

県民の森の植物を採集し、展示をする恒例の「春の野草展」  
5月17日(土)から展示しました。

カイドウ・キバナノイカリソウ・クルマユリ  
コウゾ・コボタンヅル・ゴヨウマツ・コンフリ  
サカゲノイノデ・ノダフジ・ヤマウド・  
ユキノシタ等が初めての展示となりました。



## 5/18 新緑まつり

今年度で2回目の「新緑まつり」は、晴天の中開催!

クラフトは、小さな子供さんに人気のコマ作りに挑戦!  
バスツアーでは、同日開催の雪つばきまつりの会場へ  
今年は開花が早く見頃は過ぎてしまっていました。  
農産物の販売や手打ち蕎麦のふるまいなどでは、  
地元作谷沢産の物が並びました。  
来場者が思ったよりも入らなかったのが残念でした。



アシスト多賀城(宮城県)  
5月11日(日) 25名くらい2班  
森林案内とクラフトを体験!  
クラフトは、がくぶちを作りました。



## 迅速対応



5月28日、オープン祭の下見で  
春いっぴんコースを巡回して  
危険箇所を判断し作業員による修理を  
いたしました。

## 活動の当番から

金井保育園親子遠足  
5月31日(土) 園児28名

む・う・ぶでコマ作りに挑戦!  
できあがったコマで、  
誰のがいちばん長く回っているかの  
くらっぺっこをしました。  
父兄の方にも回してもらいました。



# 松たけ山だより

発行：県民の森森の案内人の会  
(担当 竹内・協力 川瀬)

6月15日(日)開催

## 森の親子魚釣り教室

12組 24名 参加

わんぱく探検隊の中でも人気の「釣り教室」、今年度は、親子での参加を呼びかけ大人も子供も釣り竿(1本)を午前中かけて作り、午後は、鱒沼に釣りに出かけました。

釣果は、少なく残念でしたが、リーダーの前田さんが中心となり、釣り竿の作り方を丁寧に教えていただき、スムーズに作っていました。

アンケートでも丁寧に教えていただき、楽しかったとの回答が多かったです。



- 前田さん 指導
- スタッフは 天野 伊藤 6人、佐藤、大武、みどり、神保、金子、みどり、持持、小井、小林
- 釣り竿の 作業員さん 助っ人に



源流の  
木が  
やがに  
陽の射して  
水鉄砲の飛  
紅が

## 寄せ植えつくり教室

6月21日(土)開催

スタッフ：小山・関口

参加者

・子：7：後藤(外部講師)・松田・渡邊・神保・金子 11名

今回初めて、ハーブの寄せ植えをつくりました。山辺町大蔵在住のハーブコーディネーターの後藤さんより、材料すべてを準備していただき、ローズマリー・チャイブ・ワイルドストロベリー・ローマンカモミール・オレンジバルサムタイムをストロベリーポッドに植えました。

お茶や料理などに使えるということで、楽しみです。ただ、苗が小さく心配しています。元気の育つことを祈ります。



正入ロコ完成作が出来ています。



お茶やクッキーもごちそうに(は)！  
実際は利用法がよくわかった  
参加者アンケートより



うわー！



両日に水鉄砲、小雨のなかで楽しかったです。  
心配を吹っ飛ばす  
大人気  
木製の感謝祭  
6月  
7日  
(土)

# 松たけ山だより

発行：県民の森森の案内人の会  
(担当 竹内・協力 川瀬)

## 親子で楽しむ森の生き物さがし教室

7月6日(日)

1組2名で10組の募集でしたが、付き添いの方も参加され総勢25名で、県民の森の生き物さがしに出かけました。

沼に仕掛けた罠をあげると、沼エビや小さな魚が入っていました。

湿生植物園では、ドジョウやイモリ、カエル、タニシもいました。

木の葉などに付く虫は、傘を枝の下に逆さに開き枝を軽くたたくなどして、観察できること。採集のコツも教わりました。

湿生植物園でモリアオガエルと  
シメガエルアオガエルが  
泡状の卵塊を見つけた ↓  
いきました



お力をかりて捕まえた生き物を運ぶ  
作業員さんにも  
使用する道具運搬  
お世話になりました

阿部さん、樋口(師)さんお世話になりました

親子で楽しむ

オナモミの羽化

何度も足をばさんで準備は万全です。



オナモミの羽化  
みつけた



罠を  
引き上げる



アメノボ  
つかまえる



蝶の採集  
補虫網に蝶が入ったら  
胸を軽くつまみ羽を  
痛めないように取り出し  
三角紙に納めると  
乾燥したまぶ膜が  
気絶したまぶ膜が



アメノボの  
実験に  
興味津々

顕微鏡で  
虫葉の翅を見る  
山犬が岡田さん運搬



講評  
観察レポート  
子ども作品を展示  
して

## 前準備

リーダー(佐藤)さんが早稲の森の  
生き物を採り調査

こんなことをしてお楽しみ(川瀬)

- ① アリシゴクと水生昆虫に的を絞る
- ② アメノボの実験はどうか?
- ③ 雨がふるとは何にしようか?

- ① アリシゴクを飼育する
- ② 随時生き物を調べる

- ③ 天気の影響かな?
- ④ アメノボがいかに

④ 前日に調査  
臨海 板橋部  
沼田西牧園

ウスバカゲロウの羽化



軒下などで巣を見つけたら  
あなの底を掘ると幼虫が  
いるので、土を持ち帰る。



飼育ケースに土と一緒に  
幼虫を入れるとしばらく  
ケースの中をウロウロ



巣穴を作りました。



アリが巣穴の近くを  
歩くと砂をとばして  
アリの巣に落とし養  
分を吸い取ります。



繭を作り1ヶ月くらいで  
羽化します。

(写真提供 佐藤さん)